

2020年度通常公募_団体情報シート			
団体名	公益財団法人パブリックリソース財団		団体web サイトURL http://www.public.or.jp
申請事業名		申請受付番号	2042
主題	中核的フードバンクによる地域包括支援体制		申請事業の分類 ① ②イノベーション企画支援事業
副題	フードバンクを核とする食支援の地域コンソーシアムの構築支援		申請事業の分類 ② - 申請事業の分類 ③ -
優先すべき社会の諸課題選択科目			
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動	領域②	2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①		分野②	
①	経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	⑤	社会的孤立や差別の解消に向けた支援
-	-	-	-
-	-	-	-
領域③	地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域④	-
分野③		分野④	
⑦	安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	-	-

申請事業概要
目的：各県に1～2か所の中核的フードバンクを形成し、食品調達を強力に推し進める組織基盤強化を行うと同時に、地域密着のフードバンクや子ども食堂、フードパントリーと協力関係を持ち、地域包括的な連携体制をつくる。支援対象：中核的フードバンク、または、中核的フードバンク設立やコンソーシアム形成をめざす地域フードバンクや子ども食堂などの連合体。全国で5か所程度 資金支援：総助成額17,000万円。1か所あたり上限総額3,400万円。中核的フードバンクの企業連携の強化、食品や資金の獲得力の強化、食品保管設備や食品配布システムのデジタル化などの用途にあてる。非資金的支援：中核的フードバンクを核とする、地域フードバンクや子ども食堂、フードパントリーとの間のコンソーシアム形成を目指し、コンソーシアムの共通目標の設定、行動計画の策定などについて助言、専門家派遣をすると同時に、実行団体間の学び合いの場を運営する。JANPIAと共同して賛同企業を開拓し、オンライン寄付サイトにおいて、個人、企業からの寄付を募る。実行団体による報告会を開催して、成果を広く他地域と共有する。

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2013/3/6
	法人格取得年月日	2013/1/17
2	●団体概要	
	団体概要	寄付者の志をしっかりと聴くことを原点に、寄付金を活用した、助成事業の実施にあたっては、資金を提供するだけでなく、組織診断、メンター派遣、テクニカルアシスタンス、マネジメントコンサルティングなど各種の非資金的支援を併行して実施することで、インパクトを高めることを目指している。また成果評価にもSROIなど様々な手法で取り組み、寄付者に対して寄付の手ごたえを感じてもらおうことを目指している。
3	●代表者情報	
	代表者名	久住 剛
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	岸本 幸子
	代表者の役職 2	専務理事
4	●役員	
	役員の数	21人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の数	2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	15人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	1人
	常勤・有給・無期	12人
	常勤・無給(有期・無期)	1人
	非常勤・有給・有期	1人
	非常勤・有給・無期	0人
非常勤・無給(有期・無期)	0人	
	事務局体制の備考	特になし
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	上記主要助成だけで172団体

2	前年度の助成総額（円）	財団全体の助成総額 219,735,287円
3	助成事業の実績内容	
	<p>弊財団は多数の助成プログラムがあるが、ここでは主要な「基金による助成事業」についてのみ記載する。「ふくしま未来基金」 未来づくり助成 は福島未来を支える中核的な団体への2か年継続助成で300万円の助成+50万円分のコンサルタント委託費用の支援。 まちづくり草の根助成 は心と生活の復興に貢献する活動への助成で100万円の助成。各団体に対してロジックモデル作成、組織診断の実施、定期的な現場訪問・アドバイスなどの伴走支援を実施。2015年～2019年助成総額86,645,860円、延べ85団体。 キャノンマーケティングの「未来につなぐふるさと基金」は生物多様性の保全・啓発に市民参加型で取り組む活動団体に助成し、2015年～2019年助成総額40,757,423円、延べ66団体。参加型プログラムに参加したボランティア5,574人。大和証券グループの「輝く未来へ こども応援基金」は、貧困状況にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に、子どもの支援するチャレンジングな仕組みづくりに対し、事業を持続可能にする「事業開発段階」を支援するユニークな助成。2017年～2019年の実績は助成総額39,950,000円 延べ15団体。女性支援に特化した「あい基金」は、寄付者参加の公開プレゼンを経て、東北被災地で女性の就業の場づくりを行う団体に助成。助成団体を定期的に訪問し相談や助言の伴走支援を実施。団体の活動現場ツアーも開催。2016年～2019年の実績は助成総額4,300,000円、延べ7団体。ゴールドマン・サックス基金では、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援。2019年度は、Give One登録団体の中から、NPO法人「Learning for All (LFA)」同団体が展開する学習支援などのプログラム開発を支援するため2019年は助成金107,520,398円を支出した。</p>	

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり